

「医療・保健・福祉・市民の交流の場」
大村市在宅ケアセミナーだより

第125号 平成28年3月 発行元：〒856-0820 長崎県大村市協和町779
(一社)大村市医師会 大村市在宅ケアセミナー広報部 TEL: 0957-54-0151
ホームページ: <http://www.nagasaki.med.or.jp/oomura/caresemi/index.html>

平成27年度メインテーマ 『 真 の 包 括 ケ ア を 求 め て 』
～ 次 世 代 と の か か わ り ～

第142回 大村市在宅ケアセミナーご案内

日 時 平成28年3月17日(木) 18:45～

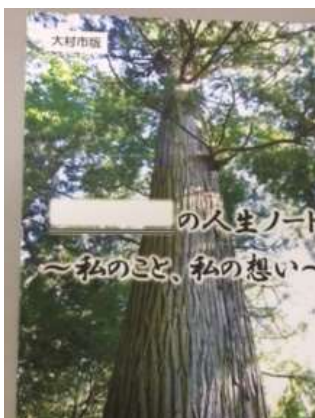
場 所 大村市民会館 3階 大会議室

内 容 『大村市における地域包括ケアシステムの取り組み』

—医療・介護を軸としたまちづくり—

講 師 大村市医師会副会長 地域包括ケアシステム推進室長

山下直宏 先生



平成28年1月30日(土)に長崎大学医学部にて開催された、日本プライマリ・ケア連合学会長崎支部会主催の第3回学術集会ポスターセッションにおいて、大村市からエントリーした2つの演題が、全28演題の中で、最優秀賞と優秀賞を受賞しました。

- 最優秀賞 『人生ノート検討委員会の実践報告』
～介護予防事業にエンディングノートを活用して～
- 優秀賞 『大村市認知症施策における人材育成』
～認知症支援リーダー養成研修の意義と役割～

人生ノート作成の背景と目的

近年エンディングノート(人生ノート)の有用性が認識されており市民の関心が高い。「人生ノート」は作成しても活用されなければ意味がなく、検討委員会において、「どう活用するか・普及するか」を重視しながら内容を検討しました。「人生ノート検討委員会」は、学生や市民も参加した。完成した「人生ノート」は、介護予防事業として、書き方講習会を行い、参加者と一緒に、これまでの人生や、これからの生活を考える機会の為に活用していく予定です。

第141回 大村市在宅ケアセミナー 開催報告

日時 平成28年1月21日(木) 18:45～

会場 大村市医師会館 講堂 参加者 126名(新規入会 32名)

内容 ① ITを用いた地域医療連携 ～よりよい多職種連携を求めて～

「地域包括ケア」において、医療と介護の連携は欠くことができません。今、全国でも注目を浴びている長崎県のITを用いた多職種連携の取り組みの紹介。

講師 長崎県医師会 常任理事 牟田 幹久 先生

大村市在宅ケアセミナー 質問・感想

- ICTによる情報連携が大村に普及したら指示も速く、状態把握も速く日常生活には不可欠だと思います。訪問にも協力体制ができるので安心。
- 死の質を考える かかりつけ医の教育をどうするか。大切な問題だと思います。

3月のケアセミナーが、最後の大村市民会館での開催になります。

大村市在宅ケアセミナーは、平成20年1月まで医師会館で開催しました。その後、会員数も増え、医師会館では、入りきれなくなったので、平成20年3月から(1月の定例会・新年会以外)を大村市民会館にて開催してきました。本当にお世話になりました。

在宅ケアセミナー新年会

セミナー終了後、恒例の新年会を開催しました。

★ 95名の参加でした。

沢山の参加ありがとうございました。

皆さん、それぞれに交流を深められていました。

【感想】

受付が混雑して、大変だった。

新年会の机の配置が良かった。(研修委員会でかなり工夫していただきました。)

テーブルクロスがかけてあり、プチ・インターナシ

ョナルホテルのようだった。来年は、人気のてまり寿司を増やし、立食では食べにくい皿うどんを減らそうか・・・等の感想がありました。



年会費の納金を忘れずにお願いします

セミナー受講の際は、受付で必ず提示をお願いいたします。

(平成26年度会員355名)

～ホームページにてセミナー便りを掲載しています。
便りの郵送不要の方は、ご連絡ください。～

